

2021年入試 日本大学芸術学部 一般選抜入試A方式第2期  
 学力試験解答例 (2021年3月9日実施)  
 (配点は当校の推定によるものです)

※3月9日に解答例速報として掲載した解答例を、日本大学公式発表を元に修正致しました。  
 英語は【IV】(24)にミスがありましたので訂正致します。※赤字で表記  
 国語は【III】問三アにミスがありましたので訂正致します。※赤字で表記

<英語>

【I】配点:24点;各3点

(1) B (2) B (3) C (4) D  
 (5) B (6) C (7) A (8) C

【II】配点:16点;各2点

(9) B (10) A (11) A (12) D  
 (13) B (14) D (15) D (16) C

【III】配点:24点;各4点

(17) C (18) D (19) C (20) D (21) A (22) C

【IV】配点:18点;各3点

(23) C (24) C (25) D (26) A (27) D (28) D

【V】配点:18点;各3点

(29) C (30) B (31) C (32) A (33) D (34) A

【短評】

大問数及び出題形式は例年通り。全体難度としては「標準」。  
 [I]は正誤問題、[II]は語法問題で語彙力と文脈把握力も問われる。  
 [III]は長文問題で、ワシントンD.C.の美術館での草間彌生の展示がテーマになっている。例年よりやや難度が高かく、丁寧な読解が必要であった。  
 [IV]は内容的に[III]と関連した会話問題で、[III]を理解し、流れをつかめば比較の容易に解ける問題であった。  
 [V]は彫刻家のカミュー・クローデルを題材とした読解問題で文中の空欄に適語を入れる問題。語法の知識があれば、解答しやすくなる。

<国語>

【I】配点:28点;各4点

問一a 3 問二 1 問三 1 問四 3

問五 2 問六 1 問七 3

【II】配点:24点;各4点

問一 4 問二 1 問三 3 問四 3 問五 2 問六 2

【III】配点:30点;問一~三:各2点、問四~七:各4点

問一 3 問二a 2 b 3 c 1 d 4  
 問三ア 1 イ 3 問四 2 問五 3 問六 3  
 問七 1

【IV】配点:9点;問一~三:2点、問四:3点

問一 3 問二 3 問三 5 問四 4

【V】配点:9点;問一:各2点、問二:3

問一a 4 b 2 c 1 問二 1

【短評】

大問数及び出題形式は例年通り。  
 [I]は人間の経験と場所との関わりを論じた文章。切り口は独特だが、論旨は明快で、設問レベルも標準的。  
 [II]は小説からの出題だが、こちらも言語と時間という抽象的な内容であって、問題文・選択肢ともに分量は多いが、設問レベルは標準的。  
 [III]久々に近世の文章からの出題となった。解釈問題がなく、文中のことわざの意味や音便形を問う、新しいタイプの設問が出題された。当時の世相や習慣に対する知識がないと読みにくかったかもしれない。単語の意味などの難問とごく基礎的な設問とが混在した出題となった。古典常識などを踏まえていないと文章全体を理解するのは難しかったかもしれない。  
 [IV]文学史は例年通り。問一はやや難しいが、ほかは基礎レベル。[V]国語常識について、漢字の使い方を問う新しいタイプが出題された。